

## 1 全国都市緑化かわさきフェアについて

- ・全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いある都市づくりに寄与するものです。
- ・本市は、令和6(2024)年に市制100周年を迎えます。これまでの100年を振り返り、次の100年に向けて、市民の皆さまと一緒に考え、行動する「きっかけ」とするため、全国都市緑化フェアを令和6(2024)年度に川崎市で開催し、**川崎らしい多様性と先進性あふれる取組を全国に向けて発信**します。
- ・こうした取組を通して**全市的なみどりのムーブメントを起こし、市民一人ひとりのウェルビーイング(心豊かな暮らし)を共創により実現**するとともに、持続可能で幸せな市民生活に向けて、**みどりが果たす新たな役割を創出**することで、コロナ禍を経験し、社会のあり方が変化する中で、**誰もが活躍できる社会モデルの具現化**を目指します。

開催目的

### ＜背景・経緯(社会状況の変化)＞

- ・近年では社会状況や市民のライフスタイルの変化に伴い、**暮らしの中にみどりを取り入れる動き**が広がるなど、みどりの価値が大きく変わろうとしています。



家庭の食卓やリビングに取り入れられるみどり



ベランダや玄関の緑化

- ・川崎の持続的な発展を目指すうえで、SDGsの達成や脱炭素社会の実現に寄与する取組を進めていく必要があり、みどりの果たす役割は重要となっています。

## 2 目指すべき視点

Green For All! ~ “みどり”でつなげる私たちの新たな未来 ~

1 100年先の笑顔のために、持続可能な最先端の都市文化を描く

2 みどりが持つ力でみんながオープンにつながり、様々なイノベーションを起こす社会モデルを提唱する

3 誰もが生きる喜び、幸せを感じられる多様性あふれる社会を実現する

名称：第41回全国都市緑化かわさきフェア

開催時期：令和6(2024)年度(令和7(2025)年3月~4月のうち40日間程度)

※調整中※



## 3 取組のポイント

全国都市緑化かわさきフェアは、次の100年“**ミライノカワサキ**”に向けて、これまで育んできた**多様なみどり**や様々な**地域資源を大切にしながら、新たな“川崎ブランド”として創出・発展**させ、SDGsの達成や脱炭素社会の実現への寄与など、**みどりの力を上手に活用した持続可能で成熟した社会への道筋を示します。**

ポイント①	ポイント②	ポイント③	ポイント④	ポイント⑤
<b>川崎の多様なみどりの“カ”を感じるフェア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●みどりの幅広い力を具現化● 生物多様性がもたらすみどりのポテンシャルを最大限発揮させる</li> <li>●グリーンインフラの推進● 自然環境が有する多機能性を効果的に活用</li> </ul>	<b>新たな都市緑化の“形”を創るフェア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な主体による緑化の推進● 各地域の様々なみどりとオープンスペースを活用</li> <li>●人と自然がつながる空間づくり● 誰もが快適に暮らし、学び、働くことができるまちづくりを推進</li> </ul>	<b>先進技術とみどりで新たな“場所”を生み出すフェア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎の持つ先進技術の活用● サイバー、フィジカル空間をつなぎ、誰もが参加、体感できる新しい場所(空間)の創出</li> </ul>	<b>環境・社会・経済的価値を同時に実現できる“社会”を示すフェア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●未来の川崎に向けて● 川崎の強み(先進技術、文化・芸術、自然環境など)を活かして、成熟した都市を目指す</li> <li>●豊かな環境を未来につなぐ● SDGsの達成や脱炭素社会の実現</li> </ul>	<b>かわさきらしい唯一無二の“文化”を育むフェア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな文化の創出● 市民や企業等の多様な主体が主役となり、みどりを活用して様々な行動が重なり合い、新たな文化を生み出す</li> </ul>

## 4 取組のイメージ

みどりの価値でつながる地域愛を持った**市民の行動一つひとつが重なり合うこと(みどりのムーブメント)**で、**かわさきの新たな文化として根付き、人、仕組み、都市空間を10年後、100年後のレガシーとしていく**ため、2つの戦略・戦術で取組を推進する。

### ＜フェア開催に向けた取組のイメージ＞

戦略1 多様な主体をつなぐ 戦略2 みどりが持つ力を引き出す



かわさきフェアの目指すべき視点や取組のポイント等を踏まえ、各事業イメージを次のとおり整理します。

(1) 会場イメージ

ア 会場づくりのポイント

- ・ **地域愛をもった市民を育む市民総参加型のフェア**
- ・ **市域全体を会場として捉え、7区の特徴を活かした会場設定**
- ・ 本市のブランドメッセージである「**Colors, Future!**」の**世界観を体感**
- ・ まちなかのみどりを上手に取り入れた、川崎らしい、新たなみどりの名所の創出
- ・ 無駄のない効率的・効果的な運営に資する会場計画
- ・ グリーンインフラ、新たな環境技術、みどりの価値をみせるショーケース
- ・ 未来を担う子どもたちをはじめ、市民や企業等とともに夢を実現するフィールド

イ 会場イメージ

- ・ 地域ごとに様々な顔をもつ川崎の多様なみどりを活用して、お互いの特色を知り、交流を育み、みんなで川崎の魅力と価値を高めるきっかけとするため、**7区それぞれの地域の特色を活かした設定とし、会場を全市的に展開**
- ・ 市域全体の中で、**本市の代表的な3つの総合公園を中心として、南部、中部、北部の3つのエリアを設定し、地域ごとの特色ある多様なみどりを活用**
- ・ **各会場を多摩川、二ヶ領用水などで結び、本市のネイチャーコリドールを体感できる会場づくりにより、取組の効果を全市に波及**
- ・ 多様な主体との連携・協働により、民有地や地域の緑化スペース、市内のオープンスペースを活用し、みどりを軸とした各種取組、コミュニティ形成の場として展開  
(例) 駅、商業施設、区役所、公園など
- ・ **先進技術を活用したVR空間（仮称バーチャル川崎）**の構築や、5G、IoTによる各会場とVR空間の接続など、誰もが川崎のみどりを体感し参加できる取組を展開



**中部エリア 「等々力緑地周辺地区」**

**スポーツの聖地・緑と水のエリア**

- ・ 多様なみどりと水に触れ、楽しさを体感できる機会を提供する取組を展開します。
- ・ 多摩川の持つ豊かな自然や水辺環境等を活かして、多様な主体とコラボレーションした取組を展開します。



**北部エリア 「生田緑地周辺地区」**

**豊かな自然と歴史・文化・芸術のエリア**

- ・ 市民協働による保全・活用の取組を発信し、川崎の豊かな自然環境に触れ、楽しみながら学べる取組を展開します。



<各区の特色>

区	主な特色	主な会場
川崎	・ 富士見公園を拠点としたまちづくりの展開 ・ 臨海部の魅力的なロケーション 等	川崎駅周辺 富士見公園 他
幸	・ 御幸公園における梅香事業の展開 ・ 夢見ヶ崎公園の活用 等	御幸公園 夢見ヶ崎公園 他
中原	・ 小杉駅周辺におけるエリアマネジメント ・ 等々力緑地におけるパークマネジメント 等	小杉駅周辺 等々力緑地 他
高津	・ 多摩川の特性を活かした魅力創出 ・ 歴史的文化資源と一体となった自然環境の魅力発信 等	多摩川緑地 二ヶ領用水 他
宮前	・ 生田緑地を拠点としたまちづくりの展開 ・ 緑と水と一体となった地域資源を活かしたまちづくり 等	生田緑地 菅生緑地 他
多摩	・ 生田緑地を拠点としたまちづくりの展開 ・ 里地里山資源の発掘、普及促進 等	生田緑地 緑化センター 他
麻生	・ 王禅寺ふるさと公園の自然環境等の活用 ・ 農ある風景の保全と農家・市民と連携した地域農業の活性化 等	王禅寺ふるさと公園 王禅寺四ツ田緑地 他

**南部エリア 「富士見公園周辺地区」**

**緑とスポーツ・文化・レクリエーションのエリア**

- ・ スポーツや様々なアクティビティ（遊び）を通じて、自然に親しみ、学ぶ取組を展開します。
- ・ 市民や地域の団体等が日頃取り組んできた成果を発信し、全市に波及させる市民発信型のプログラム（コンクールなど）を展開します。



※式典、行催事等については、会場及び周辺の安全、防犯、交通対策などの状況を勘案し、富士見公園を想定します。

(2) 協働推進

**ポイント**

- 市民一人ひとりが主役となり、フェア終了後も活動を継続・発展できるような主体性の高い仕組みを構築します。
- 地域の様々な団体等の日常的な活動にスポットをあてて、川崎ならではの新たな協働のかたちを実現します。

**イメージ**

- 教育機関、地域の活動団体、商店街等の多様な主体が連携・協働でつくる取組の推進
- 民間企業等も巻き込んだ持続可能な協働の仕組みづくり
- 自然と触れ合う体験学習 等

(例) オフィス空間の緑化の推進  
(例) 子どもたちによる緑化フェアに向けた花苗の育成

(3) 出展展示

**ポイント**

- 次の100年に向けて、未来を担う子どもたちが主体となり、川崎の多様性、魅力を発信します。
- 市民のライフスタイルに溶け込んだ、みどりの新たな価値を提案する先進的な取組を推進します。

**イメージ**

- 川崎の多様なみどりと、環境、教育、文化、歴史、農、福祉、先進技術等の各分野と連携した取組を発信する企画展示
- (例) 日本経済をけん引してきた川崎が生み出す先進技術やイノベーションを発信
- バイオフィリックデザインを取り入れた公共空間の楽しさ、心地よさを感じる展示 等

(例) 川崎国際環境技術展

(4) 行催事

**ポイント**

- 既存イベントや各区の取組と連携した市民発信型の行催事（コンクールなど）をフェア開催前から展開します。
- これまでの100年を振り返り、川崎の多様性や魅力を、次の100年につないでいくため、市制100周年にあわせて行われる記念事業などと連携した取組を推進します。

**イメージ**

- フェア開催前からの取組による機運の醸成
- 市内のコンテンツホルダーと連携した取組の企画
- みどりと他分野の取組を効果的に連携することで、みどりの新たな価値を発信 等

(例) スマートライフスタイル大賞

(5) 会場運営

**ポイント**

- 市民、地域の活動団体、NPO、学校、企業等の多様な主体と連携・協力した運営手法を導入します。
- 誰もが安全で快適な会場運営を行います。

**イメージ**

- 多様な主体との連携・協力体制の構築による効率的な会場運営
- 市内全域で展開される取組や活動のリアルタイムな情報発信
- 市内の企業、団体等の参画促進のため、多様な協賛形態の構築、募集の実施
- A Iを用いた人流分析、評価 等

(例) 市道小杉町21号線の社会実験

(6) 広報宣伝

**ポイント**

- 川崎の多様性や魅力を全国に発信します。
- すべての世代に幅広く浸透させるため、フェア開催前から広報を展開し、機運を高めます。

**イメージ**

- 地域の様々な情報媒体やSNS等の活用による戦略的な広報
- シティプロモーションと連携した効果的な取組の発信
- ICT等の積極的な活用による情報インフラの整備、活用 等

(例) SNSを活用した広報宣伝 (出典：富山市 amazing\_toyama)

(7) 植物調達

**ポイント**

- 市内生産団体等との連携・協力による、フェア終了後もブランド力を持った生産体制の構築を検討します。
- フェア後においても継続できる植物等の活用方策の仕組み（花苗→枯れた後の堆肥化→新たな花苗への施肥のようなモデル等）の展開 等

**イメージ**

- 教育機関・企業等と連携・協力した植物調達の検討をします。
- フェア後においても継続できる植物等の活用方策の仕組み（花苗→枯れた後の堆肥化→新たな花苗への施肥のようなモデル等）の展開 等

(例) ロスフラワー活用

(8) 交通輸送

**ポイント**

- 既存の公共交通機関の利用促進及び周辺への影響を踏まえた交通対策を実施します。
- 市内各会場間の回遊性の向上に資する利便性の高い輸送計画を検討します。

**イメージ**

- 交通負荷の抑制や人流を分散する先進技術（MaaS等）の積極的な活用を検討
- 自動車での来場者低減方策の実施検討
- A Iを用いた交通対策、解析 等

(例) 「しんゆりMaaS」実証実験 (出典：小田急電鉄より)

(9) 飲食・物販

**ポイント**

- 市内各会場において、地域の特産物等を使用した食等を提供します。
- 民間事業者や生産者等と連携・協力して、川崎の魅力として発信します。

**イメージ**

- 飲食事業者や生産者等と連携した、市内特産物等を使用した料理やご当地グルメ等の提供
- 民間事業者や民間活動団体、生産者等によるサーキュラーエコノミーの推進
- 市民農園等の身近な農とのふれあいが展開される取組の検討 等

(例) 市内農産物を活かした食の提供

6 推進体制・取組スケジュール

(1) 推進体制

**ア 実行委員会の設置**

かわさきフェアの円滑な事業推進や市制100周年にあわせて行われる記念事業などの連携を目的に、主催者、学識経験者、各分野の関係団体等により構成する実行委員会を設置します。

**イ 実行委員会幹事会（事務局）の設置**

かわさきフェアの実施にあたり、実行委員会の事務処理等を行うため、市制100周年にあわせて行われる記念事業などの連携を踏まえて、実行委員会事務局を設置します。

(2) 取組スケジュール ※今後、「基本計画の策定に向けた取組状況について」等を踏まえて、基本計画（案）を策定予定

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度～ (2025年度～)
フェア開催都市	第37回 広島県・広島市他22市町村	第38回 熊本市	第39回 北海道・恵庭市	第40回 仙台市	第41回 川崎市（予定）	
計画策定	基本構想	★ 国の同意 パブリックコメント (年内)	基本計画策定	実施計画		
事業展開						
会場準備等						
実施体制	◆懇談会 (基本構想)	◆懇談会【3回】 (基本計画)				

市制100周年

事業の推進 ※可能なものから随時取組に着手

会場準備等

◆実行委員会設立・事務局設置

かわさきフェア開催

取組の継続・発展